

板倉町 長寿命化修繕計画

令和7年3月

板倉町 都市建設課

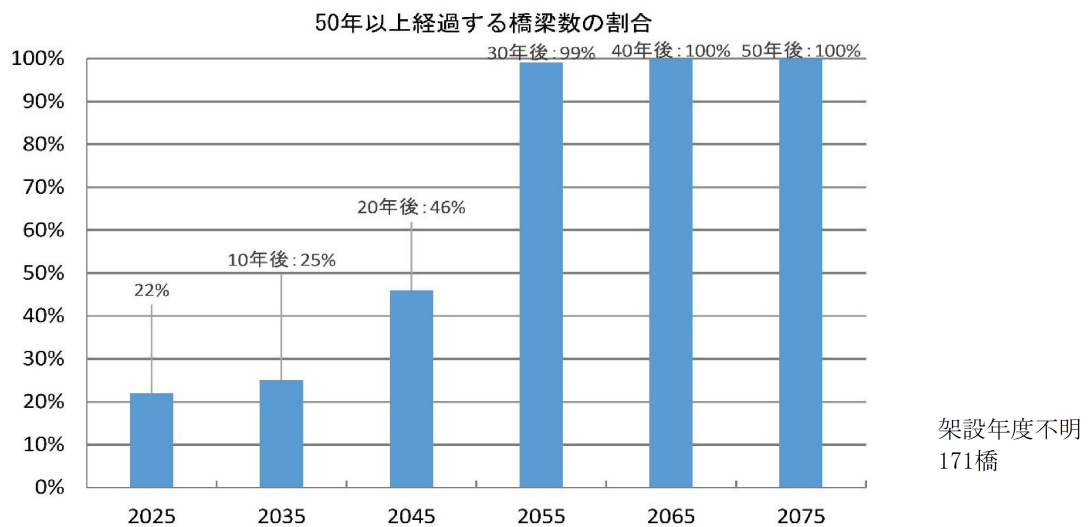
1. 長寿命化修繕計画の目的

1) 背景

板倉町が管理する橋梁は、2025年度現在で286橋架設されています。

このうち、建設後50年を経過した高齢化橋梁数を占める割合は、現在は22%ですが、30年後には、99%にまで増加します。

このように管理橋梁の高齢化が今後急速に進むことから、従来の事後保全型の維持管理を継続した場合、そのために必要なコストが膨大となり、安全性・信頼性の確保のための適切な維持管理を続けることが難しくなる恐れがあります。



2) 目的

今後高齢化する道路橋の急速な増大に対応するため、従来の対症療法的な修繕および架替えから、予防保全的な修繕および長寿命化修繕計画に基づく架替えへと円滑な政策転換を図ります。これにより橋梁の長寿命化および橋梁の修繕・架替えに係わる費用の縮減を図るとともに、地域道路網の安全性・信頼性を確保することを目的とします。

2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁

	一般国道	主要地方道	板倉町道	合計
全管理橋梁数	0	0	286	286
うち計画の対象橋梁数	0	0	283	283
うち2025年度時点の計画策定橋梁数	0	0	283	283

3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

1) 健全度の把握の基本的な方針

健全度の把握については、「群馬県橋梁点検要領（最新版）」に基づき5年に1回の頻度で実施する定期点検を基本とします。

2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針

橋梁を良好な状態に保つため、日常的な維持管理として、道路パトロールを実施するとともに、清掃や土砂詰まりの除去等の対応が容易な作業を実施します。

4. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針

健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針とともに、予防的な修繕等の実施を徹底することにより、修繕・架替えに係わる事業費の大規模化を回避し、ライフサイクルコストの縮減を図ります。

【長寿命化修繕計画の基本方針】

a) 点検計画

◆点検は、5年に1回の頻度で実施する定期点検を基本とします。

b) 修繕計画

◆今回の修繕計画は、2019年度～2024年度に実施した橋梁点検結果に基づいて立案します。

◆板倉町で管理する橋梁283橋に対し、優先して計画を策定します。

◆点検により修繕が必要な損傷が見つかった場合は、次回点検までを目標に優先順位を決めて修繕を実施します。

c) 費用の縮減に関する方針

◆新技術・新材料等の活用により、事業の効率化や費用縮減に努めます。

◆老朽化した橋梁や、利用者が極端に少ない橋梁については、集約化、撤去、機能縮小などの検討を行い、維持管理費用の縮減に努めます。なお、2023年までに2橋撤去済みであり、現在、1橋の集約化・撤去の検討を実施しています。

5. 長寿命化修繕計画による効果

予防保全を基本とした長寿命化修繕計画の実施により、従来の事後保全的な管理と比較し、今後100年間で70億7,200万円のコスト縮減が見込めます。

- 1) 事後保全型の累積事業費 ----- 100年間総費用 134億5100万円
- 2) 予防保全型の累積事業費 ----- 100年間総費用 63億7900万円
- 3) コスト縮減の効果 134億5100万円 - 63億7900万円 = 70億7200万円

